

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 1 月 11 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/11 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約 2.0 m³/h	19.9	107.7 kPa abs	A 系: 0.17 vol %
		給水系:約 2.5 m³/h			B 系: 0.16 vol %
2 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約 3.5 m³/h	33.9	5.16 kPa g	A 系: 0.04 vol %
		給水系:約 1.9 m³/h			B 系: 0.05 vol %
3 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約 3.5 m³/h	34.3	0.25 kPa g	A 系: 0.19 vol %
		給水系:約 1.9 m³/h			B 系: 0.18 vol %

* 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/11 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1 号機	循環冷却システム	運転中	9.5
2 号機	循環冷却システム	運転中	11.1
3 号機	循環冷却システム	運転中	8.7
4 号機	循環冷却システム	運転中	20

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2 号機	2 号機 タービン建屋	→ 3 号機 タービン建屋	1/11 13:55 ~ 移送実施中
3 号機	3 号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	12/18 14:00 ~ 移送実施中
6 号機	6 号機 タービン建屋	→ 仮設タンク	1/11 10:00 ~ 15:00 移送実施

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1 / 11 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中 *	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H24/12/26 10:10 頃、淡水化装置(逆浸透膜式)3のジャバラハウス内において、協力企業作業員が、水が漏えいしていることを発見。同日 10:16、当該淡水化装置3を停止し、漏えいが停止したことを確認。
漏えい原因は、協力企業作業員が同施設内の防凍用シート養生の手直し作業中に誤ってベント配管にシートを接触させ、当該箇所を破損したことにより水漏れが発生したものと推定。

・H24/12/27 15:09 漏えい箇所の前後弁を閉止により隔離し、他の移送ラインのベント配管およびドレン弁状態に異常がないことを確認したことから、健全性を確認した移送ラインを用いて、同装置を起動。

・H25/1/11 8:53、破損したベント配管の交換のため、淡水化装置(逆浸透膜式)3(RO3)を停止。その後、交換修理を実施し、同日 12:53 より同装置を運転再開。同日 13:20、漏えい等の異常がないことを確認。

・H25/1/15 第二セシウム吸着装置(サリー)の非破壊検査(第2期)を実施するための準備として、同装置を停止予定。

< 5 . その他 >

・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。

・H24/4/25 ~ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

・H25/1/7 ~ 1/11 取水路前面エリア北側のシルトフェンス交換作業を実施。

・H25/1/8 ~ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。

以 上